



ホ ン ダ フ ル  
本derful!  
～ 自分を 世界を 未来を 拓く ～

<アクティブハイスクール事業は終了しましたが本校の特色として実施しています>

## 令和4年度(2022年度) 本derful!講演会

### 『 文具に恋して。 』

\*2022年12月16日(金)

講師：文具ソムリエール

菅 未里 氏

対象：第1・2学年

担当：第1・2学年 本ダフル委員会

会場：栗東芸術文化会館さきら



『仕事を効率化するビジネス文具』『文具に恋して。』等  
(生徒各自が選書)を読み、講演していただきました



## \* 生徒の感想より \*

- ◆ 私も内向的な性格なので、文房具が会話のきっかけになるっていいなと思いました。思い返してみると、小学校の頃、てんとう虫の形のかわったはさみを友達が褒めてくれた記憶があります。文房具には人と人をつなげる力があるんだなと思います。最後の質問で、自分に合うノートをみつけてみてとおっしゃっていたので、探してみたいです。
- ◆ あたりまえにある文房具が人生を変えるきっかけになるなんて、きっかけはどこにでもゴロゴロ転がっているなと思いました。話も学生に共感できるような話ばかりで聞いている側もすごく楽しかったです。
- ◆ 講演を聴く前までは、ただひたすら先生のお気に入りの文房具をプレゼンされるのかと思っていましたが、意外と文房具好きではない人にも通ずるお話で楽しく聞けました。
- ◆ 興味を持ったことや好きなことに進んでいくのが一番わくわくすることなんだろうなと思った。
- ◆ 文具の話がたくさん聞けるとわくわくしていましたが、他のことが多くてちょっとがっかりしたけど、先生の半生についていろいろ知ることができて良かったです。いま一緒にいる友達を大切にしようと思いました。
- ◆ 私も文房具が好きなので、今回の講演会はとても楽しかったです。私は一度文房具に関わる仕事をしたいと思ったことがありました。今、夢ややりたいことは見つかっていないけど、先生のお話を聞いて、もっと視野が広がりました。
- ◆ 文房具以外にも、今の私達の支えになるようなお話をしてくださり、ありがとうございました。特に今、進路がきまっていなくても焦らないという言葉が進路が全然決まっていないう私の支えになりました。
- ◆ いつもこのような講演会は寝てしまうのに、今回はずっと起きていることができました。先生のようなすごい人でも有名になる前は私たちと同じで、いろいろ悩んでいたたり、自分と同じように内気な性格だと聞いて驚いたし、同時に親近感を感じました。友人のお話のとき、先生の悲しく悔しい過去や大切にしてほしいという切実な心がとても深くひびきました。

- ◆ 自分がどのタイミングで何を好きになり、何を夢見たりするようになるのかはまだわからないけど、そのときが来たら、と思うと少しわくわくする。自分の好きなもののための行動力や思いを見習いたいと思った。
- ◆ 共感を求めすぎることは、時に自分を傷つけることにもなるので注意が必要だと思った。文房具を通して人とのつながりが広がっていったのがすごいと感じたし、人と話せるきっかけはたくさんあると思った。
- ◆ 文具のことはもちろん、それ以外のすごくなる話をしてくださってよかったです。人生はいろいろあるけれど、何とかなるさと教えてもらいました。
- ◆ 一番印象に残ったことは「ずるい言葉」や「二番目の悪者」です。ふりかえると、「～知らんけど」などで、不確かな情報を流していたので気をつけていこうと思いました。
- ◆ 今まで考えてこなかった本を読むことの意味などを教えていただきました。また、おすすめの文房具などをおしえていただき、ぜひ使ってみたいと思いました。この講演会の話が家族にもしたいと思います。
- ◆ もっと文房具について、どんなものがあるか、どんなものがオススメかきいてみたかった。
- ◆ 好きな仕事をしておられる人は輝いて見えました。僕も自分が好きなことを仕事にしたいと思いました。
- ◆ 菅先生のおすすめのボールペンは私が使っているものでうれしくなりました。菅先生の話聞いて周りにいる友人を日々大切にしようと思いました。
- ◆ 文房具で人とつながれるなど、新しい世界について知ることができました。
- ◆ 講演会の前は文具についてだけのお話かと思っていたが、生きていく上での話とか、ちょうど進路についてとか、少しでも心が楽になったり、自分も考えさせられるようなことを聞くことができ、ためになったし、そのような生き方もあるのだなと、まだ将来の夢がはっきりしていなくてもいいのだなと思わせてくれたのがよかったです。